

# 2020年に向けた 社会教育・コミュニティ活動の活性化

—学びによるまちづくりのチャンス！  
東京2020オリンピック・パラリンピックを活かす視点—



HOST CITY

東京都オリンピック・パラリンピック準備局  
総合調整部 連携推進課 事業推進担当

萩元 直樹

# まずは 自己紹介

本日はよろしく  
お願いいたします

# まずは自己紹介①

市役所職員 **10**年目(2007年～)

**1**ヶ所目: 高齢者福祉課(3年間)

**2**ヵ所目: 中央公民館(5年間)

※公民館主事となった**2**年目に

**社会教育主事の資格を取得!**

# まずは自己紹介②

**3ヵ所目：都庁オリ・パラ局（2年間）**

**※小平市で初の公募人事**

**4～10月：多言語対応  
国調整**

**10～3月：国調整**

**4月～：多言語対応**

# まずは自己紹介③～市役所職員として～

「小平市民のために頑張る！  
大好きなこのまちを  
市民とともにによりよくしたい！」

モットー：**前例超越**

性格：前向きだけどめんどくさがり

# まずは自己紹介④～都庁職員として～

「都民・各自治体・世界中から来る  
外国人のために頑張る！」

オリ・パラを機として  
多くのネットワークを作りたい!!」

学んだこと: 主体性と責任と  
チームプレー

**東京2020大会**

# 東京2020大会 開催日程

**東京2020オリンピック**

2020年7月24日(金)～8月9日(日)

**東京2020パラリンピック**

2020年8月25日(火)～9月6日(日)





















皆さんの  
オリ・パラ への  
イメージは？

今日みんな  
共感したいこと

**東京2020大会は**

**まちづくりの**

**ビッグチャンス！**

# 区市町村の取組む上での 基本的な考え方①

①大会成功に向けた取組

②大会後の地域活性化に  
向けた取組

# 区市町村の取組む上での 基本的な考え方②

## <3つのキーワード>

- ① **レガシー**（ハード/ソフト）
- ② **サスティナビリティ**
- ③ **インクルージョン**

# 区市町村の取組む上での 基本的な考え方③

**基礎自治体も**

**ホストシティ**



**TOKYO 2020**



**TOKYO 2020**

**PARALYMPIC GAMES**



HOST CITY



# 区市町村の取組む上での 基本的な考え方④

- ①「大会に向けて」  
「大会を契機として」とは…  
⇒オリ・パラをうまく活用・利用  
ということ！
- ②オリ・パラは、スポーツだけではなく、幅広い課題を扱っている  
⇒幅広い事業展開ができる！  
⇒全庁的な取組みが重要！



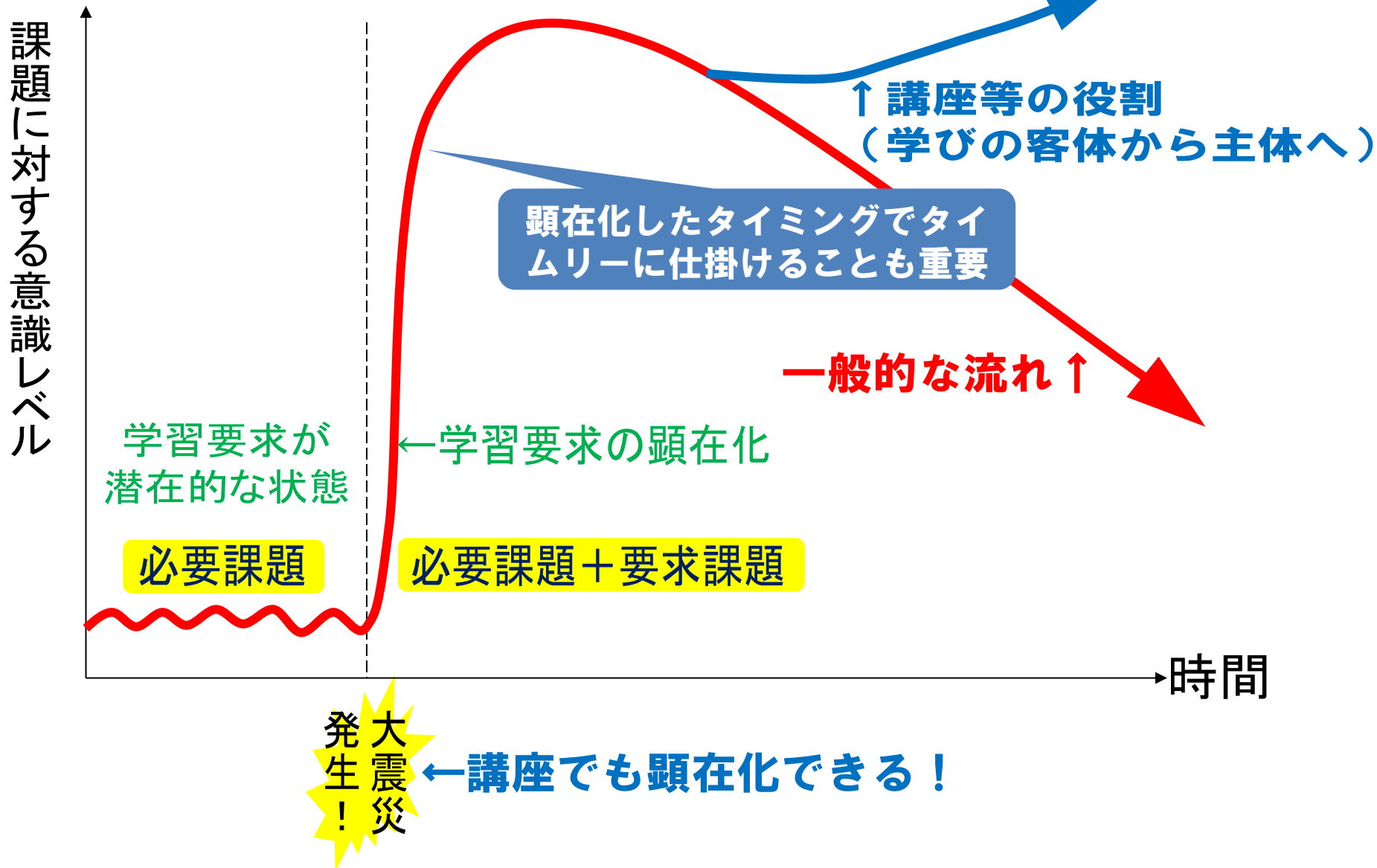
# 区市町村の取組む上での 基本的な考え方④

③オリ・パラは、**既存事業**の  
充実・発展のチャンス！

④「高い関心」を活かすことで、  
解決できなかつた**課題**に取組む  
チャンス！

# <例：地域防災のケース>

※その他の参考ケース「いじめ」「アレルギー」「憲法改正」「防犯」…等



**研修の目的**

**と**

**ワークショップの目標**

# 本研修の目的

## 全国初の研修テーマ

- ①東京2020大会を活かした  
**「学びによるまちづくり」**の可能性  
を学ぶため
- ②積極的な**「仲間づくり」**のため

# ワークショップの目標

- ① **オリ・パラの可能性と  
事業のアイデアをつなげよう！**

Point

他の自治体・所属の人との対話で、自分の視野を広げ、考えを深めましょう！

- ② **これからも情報交換や連携して  
いけそうな人とつながり、  
ネットワークを広げましょう！**

# 学びによるまちづくり①

コミュニティ活動は、何らかの課題に対して行われている。

課題に対する「学習活動」は必要なもの。

また、活動の中にも「学び」がある。

⇒社会教育の範囲

## 学びによるまちづくり②

(つづき)

⇒社会教育の対象が広範囲すぎることはメリットでもデメリットでもある。

⇒**ネットワーク型行政**の推進役として、社会教育の活躍が期待されている。

## 学びによるまちづくり③

「まちづくり」を登山に例えると…

「学び」という角度から登山しているのが、社会教育の分野。

でも、その山を登る人たちは、他の登山道にもいっぱいいるはず！



## 学びによるまちづくり④

「まちづくり」を登山に例えると…

例えば、となりの登山道には学校教育、  
そのとなりには**市民活動**や**NPO活動**、  
もう少し角度を変えれば**観光**、**福祉**、  
**環境**などなど…

# 学びによるまちづくり⑤

- 「**学び**」に軸足を置き、  
**オリ・パラは各課との連携を図るチャンス!!**  
**社会教育の良さをPRするチャンス!!**  
と積極的に考え、よりよい事業を行う。  
⇒オリ・パラを機としてまちづくりを**多方面**  
で進める・進めていく。  
⇒**社会教育、コミュニティ活動の活性化**に  
つながる。

ワークシヨツプ

5つのテーマ

# 多文化共生のまちづくり のために何ができる？

1

## <キーワード>

- ⇒ 日本語教育、外国語教育
- ⇒ 多言語対応、言葉のバリアフリー、
- ⇒ 在住外国人・訪日外国人
- ⇒ 国際理解、国際交流

# ユニバーサルデザインの まちづくりのために 何ができる？

2

## <キーワード>

- ⇒障がい者理解、心のバリアフリー
- ⇒ノーマライゼーション、ダイバーシティ、
- ⇒アクセシビリティ
- ⇒障害者スポーツ、パラスポーツ
- ⇒人権、共生社会

# 子どもたちの社会参加のために オリ・パラを活かして 何ができる？

3

<キーワード>

⇒オリンピック・パラリンピック教育

⇒テーマ型コミュニティ、エリア型コミュニティ

⇒学校から地域へ

# 観光資源の再発見と 発信による地域活性化 のために何ができる？4

## <キーワード>

- ⇒ 地域産業、伝統文化・食・技術・アート
- ⇒ インバウンド、在住外国人、留学生
- ⇒ 多言語対応、ボランティアガイド、おもてなし
- ⇒ シティセールス、シティプロモーション
- ⇒ 広域連携、観光ルート、ハラル食、体験

# オリンピック・パラリンピックを みんなのものにしていくため どんなことができる？ 5

## <キーワード>

- ⇒ 庁内連携、広域連携
- ⇒ 市民参画・協働、官民連携・協働
- ⇒ オリンピック・パラリンピックへの認識不足
- ⇒ 1964大会のシニア層
- ⇒ 文化プログラム



ワークシヨツプ

進め方

まず第一に、  
対話を楽しみましょう！

# 進め方①

## <準備>

ふりかえりシートに、

- ・ 講演で気づいたこと、ヒントになったこと
  - ・ 今後の業務に活かせそうなこと
- について、一つずつ書いてください！

## 進め方②

### <1ラウンド目 20分>

- ①まず、自己紹介を一周します。（一言ずつ）
  - ・お名前
  - ・お仕事
  - ・研修に来た動機
- ②ふりかえりシートの内容を一人ずつ紹介し、一周します。
- ③各テーブルのテーマに沿って対話を進めましょう。お互いに質問したり、他の人の意見を聴いて感じたことを話し合いましょう。

## 進め方③

### <メンバー・チェンジ 3分>

- ・ 1ラウンド目のメンバーと名刺交換
- ・ 一人を残し、他の人は別グループに移動します

### <2ラウンド目 20分>

- ①自己紹介（お名前、仕事、オリパラと言えば～）
- ②ふりかえりシートの内容の共有
- ③各テーブルのテーマに沿って対話を進めましょう。  
お互いに質問したり、他の人の意見を聴いて  
感じたことを話し合しましょう。

# ご協力のお願い

- 2ラウンドにすることで、参加者の方が多くの方と話していただけるように、プログラムを組みました。
- 全員が話せるように、ご協力をお願いします。
- メンバーチェンジの際、最初に発表した方が残り、他の方はそれぞれ違うグループに移動をお願いします。
- 名刺交換はメンバーチェンジ時、終了後をお願いします。

**ワークシヨツプ**

**1ラウンド目**

**(20分程度)**

ワークシヨツプ

席替え



**ワークシヨツプ**

**2ラウンド目**

**(20分程度)**

ワークシヨツプ

もとの席へ

ワークシヨツプ

ふりかえり

# ふりかえり（10分）

今までの対話をもとに、

東京2020大会を活かした

**「学びによるまちづくり」の可能性**  
と

**「自分がどうオリ・パラに関わりたいか」**

について、グループメンバーで話し合  
いましょう！

# 全体の共有（10分）

各グループで出た

東京2020大会を活かした

**「学びによるまちづくり」の可能性**

について、全体で少しずつ共有しましょう！

オリンピック・パラリンピックに向けた取組は、自分の組織だけでは難しいことや迷うことも少なからずあると思います。

今日の交流を、他の自治体との  
情報交換や連携を進めるきっかけ  
にしていただければ幸いです。

今日のヒントを糧に、それぞれの  
現場で頑張りましょう！

そして、2020年に向けて、  
世界に誇れる東京を共に  
つくって  
いきましょう！



# おわり

どうもありがとうございました。

**みんなで豊かな地域社会を  
つくりましょう！**

今後ともよろしくお願いいたします。